JLTAV 2023 Practice Exam Number 2 – Transcripts and Sample Answers

This marking guide contains:

- Suggested answers for each question
- Suggested marks for each question
- Sample responses for the writing tasks

NOTE: This marking guide has not been endorsed by the VCAA.

Section 1 Part A - Listening and Responding in English Text 1

みなさん、じゅぎょうが始まる前に、大せつなお知らせがあります。よく聞いてください。

自然環境をまもるように、色々な新しい校則を作りました。生徒会と話し合ったけっか、今日から、かく教室にはリサイクルボックスがあります。使わない紙やだんボールがあれば、リサイクルボックスに入れてください。それから、去年ためたお金で二つのコンポスターを買いました。くだ物やティーバッグなどの生ごみをコンポスターにすててください。一つのコンポスターは駐車場のとなりにあって、もう一つが体育館の後ろにあります。そして、プラスチックごみをへらすために、毎朝、マイボトルとタッパーを学校に持ってきてください。

最後に、たくさんの生徒は気候変動をしんぱいしているそうです。二酸化炭素の排出をへらすために、教室を出る時に電気をけすのをわすれないでください。もし、環境をまもるためにほかのアイディアがあれば、来週の金曜日までに生徒会にメールをおくってください。みんなでがんばって、きれいな環境を作りましょう。

Question 1 (10 marks)

- a. Why is there a recycling bin in every classroom from today? (1 mark)
 - Because the student council requested it.
- b. What type of rubbish should students dispose of in the compost bins? (1 mark)
 - Food scraps such as fruit and teabags.
- c. Where are the two new compost bins located? (2 marks)
 - Next to the car park (1 mark), behind the gym. (1 mark)
- d. What shouldn't students forget to do? (1 mark)
 - Turn off the lights when they're leaving a classroom. (1 mark)
- e. List three additional ways students can preserve the school environment. (3 marks)
 - By putting such things as cardboard and paper they won't use in the recycling bin (1 mark)
 - By bringing a reusable drink bottle to school (1 mark)
 - By bringing tupperware/containers to school (1 mark)
- f. What should students do if they have another idea of how to protect the environment? (2 marks)
 - Email the student council (1 mark) by next Friday. (1 mark)

Section 1 (Part B - Listening and Responding in Japanese) TEXT 2

もしもし、田中先生? お久しぶりです。アイシャです。私は今、日本の生活を楽しんでいます。メルボルンの日本語クラスのみんなは元気ですか。田中先生が来年の日本旅行をけいかくしていると聞いたから、電話しました。

学校のツアーでは、みんな、東京や京都など、大きい都市をおもに旅行しますね。それも大事ですが、日本の田舎には、いい所がたくさんあります。ぜひ、田舎にも行ってみてください。一番のおすすめは、広島県と愛媛県にあるしまなみ海道です。これは、日本で有名なサイクリングロードで、7つのはしを自転車でわたることができます。ゴールデンウィークに、ホストファミリーと行ってきました。海や山やはしがとてもきれいで、おいしい食べ物がたくさんありました。レモンが有名で、新せんなジェラートを食べたり、おんせんに入ったり、びじゅつかんに行ったりしました。「レンタサイクルターミナル」という自転車をかりられる場所がたくさんあって、どこでもかりられるし、かえすことができます。自転車ではしをわたっている人たちや、地元の人たちと話せて、いいけいけんになりました。

学校のみんなは、田舎で体験できるアクティビティを楽しめると思いますよ。どうですか。ぜひしまなみ海道をツアーに入れることを考えてみてください!また電話します。

Question 2

a. According to the phone message, what does Aisha think about the Japanese countryside? (1 mark)

メッセージによると、アイシャは田舎について、どう思っていますか。

● いい所がたくさんあると思っている。(1 mark)

b. Fill in the table below with the appropriate information about *Shimanami Kaido*. (2 marks) 下のひょうに、しまなみ海道について正しいじょうほうを入れなさい。

Location	広島県とえひめ県
場所	(1 mark)
Scenery	海や山やはしがとてもきれ
景色(けしき)	い (1 mark)

- c. What tourist activities did Aisha do with her homestay family? (3 marks) アイシャはホストファミリーと、どんな観光をしましたか。
 - 新せんなジェラートを食べたり(1 mark)、おんせんに入ったり(1 mark)、びじゅつかんに行ったり(1 mark)した。
- d. What would you experience whilst riding a bike along *Shimanami Kaido*? (2 marks) しまなみ海道で自転車に乗っている時、どんなことができますか。
 - 7つの橋をわたることができる。(1 mark)
 - レンタサイクルターミナルでどこでも自転車をかりられて、かえせる。(1 mark)

- e. Why did Aisha say the trip to *Shimanami Kaido* was a good experience? (2 marks) アイシャがいいけいけんになったと言っているのはどうしてですか。
 - 自転車ではしをわたっている人たち(1 mark)や、じもとの人たちと話せた(1 mark)から。

Section 2 (Part A- Reading, Listening and Responding in English) TEXT 3B

Radio Presenter	みなさん こんにちは。今日のトピックは部活動の変化です。仙台中学校の山本 先生にインタビューをしたいと思います。 まず、今生徒は何人ですか。
Ms Yamamoto	はい 340人です。30年前とくらべると、約半分で、生徒の数は毎年へりつづけています。
Radio Presenter	そうですか。仙台中学で部活がかわっているのはそのためですか。
Ms Yamamoto	はい。とくにチームスポーツの部活がかわってきています。生徒の数はへっているのに、部活のしゅるいの数は同じです。ですから、生徒のかずがあつまらないので、サッカー部とやきゅう部は去年からなくなってしまいました。それから、さいきんは練習がきびしい部活を毎日したくないと思っている生徒がふえてきています。勉強や自分の時間を大切にしたいと思う生徒が多いですね。
Radio Presenter	そうなんですね。では、このようなチームスポーツをしたい生徒達は部活ができない んですか。
Ms Yamamoto	このような生徒達のために、「マルチスポーツ部」という部活を作りました。この部活のいい点は、生徒達がどんなスポーツをしたいか決められることです。そして、いろいろなスポーツを楽しくリラックスしてすることができます。練習は週に2回だけなので、生徒達は勉強とスポーツのバランスがとれていいと言っていますよ
Radio Presenter	そうですか。山本先生、今日はありがとうございました。

Question 3

- a. Based on the reading text (Text 3A), list two reasons why club activities have been changing recently. (2 marks)
 - Number of overall students is declining. (1 mark)
 - Teachers working too much. (1 mark)
- b. In particular, what is changing with sports clubs? Give 2 reasons for this change, providing evidence from the texts. (Text 3A and 3B) (3 marks)
 - From the graph, the number of participants is declining. In 2007, 65% of the students participated in the sports club, but in 2023, this has decreased to 58%. (1 mark)
 - The reasons for this change are because team sports require a large number to run, but due to the decline of the number of students, they can not have enough students to run as a team. (1 mark)
 - Also, more and more students started shifting away from doing some strict and daily training, but they want to have more time for their study and their own time. (1 mark)
- c. What are the positive aspects of the 'multisport club'? (Text 3B) (3 marks)
 - They decide their own preferred sports to play. (1 mark)
 - They are able to play various sports in a fun and relaxing environment. (1 mark)
 - The students can have a balanced lifestyle because they do it only twice a week. (1 mark)
- d. Complete the table below by giving examples and details from the Reading text (Text 3A) of how club activities are changing. (6 marks)

Location	Example
Shizuoka ken Numazu city (1 mark)	'Joint club activity' (1 mark) Students who are unable to play soccer at school go to the local soccer club twice a week. (1 mark)
Tochigi ken (1 mark)	Once a week, students go to the local sports club or university to do their activity. (1 mark) Tennis club goes to nearby University and tennis club members at University coach the students. (1 mark)

- e. How do these changes help to solve the problems around running club activities in Japan in the current environment? (Text 3A and 3B) (6 marks)
- By running a multisport club, (1 mark) while students are able to play the sports that they want to play, they are able to balance their student's life. (1 mark)
- By running community based activities (1 mark), students are able to play the sport that they like, although the number of students are decreasing (1 mark), thus their school can not run their own club activity.
- <u>Teachers' excess work hours can be solved (1 mark)</u>, <u>since some of the activities are taken care of by their local communities.</u> (1 mark)

SECTION 2 (Part B: Reading and responding in Japanese)

This is a sample response only. It is not an example of a high scoring response. It is for teachers to use with their students. Only kanji from the prescribed list in the Study Design has been used in this response.

			日	本	で	人	気	水	あ	る	Ξ	٤							
																	33.	=	
																	サ	ラ	
	み	な	ż	h	ķ.	今	ķ.	日	本	で	人	気	が	あ	る	٤	٤	は	何
だ	Ł	思	W	ŧ	す	ψ×	o	私	は	Ĺ	ħ	を	ι	6	×	る	た	め	ĸ
友	だ	ち	Ø	た	力。	ŧ	Ь	に	開	W	て	み	た	6	×.	お	ь	l	3
W	Į.	٤	が	分	ስኔ	ŋ	ま	l	た	0	そ	ħ	は	サ	ゥ	ナ	で	す	0
	E	5	ι	て	サ	ゥ	ナ	水	は	Þ	2	て	W	వ	h	で	l	ŗ	j
か	0	IJ	ħ	は	,	ま	h	水	や	ľ	ラ	4	の	え	W	ŧ	ı	う	だ
そ	j	で	す	o	l	φ	人	IJ	5	水	サ	ゥ	ナ	水	大	好	ŧ	だ	Ŋλ
6	,	IJ	ħ	を	楽	ι	t	た	ø	の	方	Œ	5	を	l	ı	5	ታን	W
l	ま	l	た	a	そ	ħ	Ŋλ	6		サ	ゥ	ナ	に	行	<	人	水	s	ż
た	そ	5	で	す	0	ま	₹°	,	サ	ゥ	ナ	に	入	0	τ	×	次	は	水
の	お	s	3	,	そ	l	て	休	け	W	ŧ	入	ħ	る	Ł	け	h	2	う
に	な	る	6	l	W	で	す	٥											
	ま	た	,	た	力。	ŧ	Ь	は	Γ	٤	Ł	Ø	5	J	Ł	W	j	٤	Ł
ば	を	教	え	て	<	ħ	ま	l	た	0	サ	ゥ	ナ	で	y	ラ	ッ	ク	ス
す	る	Σ	Ł	で	す	0	私	ŧ	Ł	Ł	Ø	0	て	み	た	W	Ł	思	W
ま	ι	た	٥	み	な	ŧ	Ь	ŧ	Ł	う	で	す	か	0	開	W	て	<	ħ
て	,	あ	ŋ	水	Ł	う	ĭ	ž	W	ま	l	た	٥						

SECTION 3 (Writing in Japanese)

These are sample responses only. They are not examples of high scoring responses. They are for teachers to use with their students. Only kanji from the prescribed list in the Study Design has been used in these responses.

			7	ン	ピ	2		9	-	を	使	5	ľ	炒	老	ょ	5		
														IJ	v		ス	111	Z
	私	Ø	学	校	で	は	`	t	1¢	ž	ł	5	中	E	ょ	<	=	ン	۲
2.	No.	g		を	使	V	ま	す	0	2	ħ	K	2	W	て	,	N	V	Á
ŧ	ŧ	h	だ	11	点	ŧ	あ	る	Ø	で		2	O	記	事	に	書	ŧ	た
V.	٤	思	Į,	ま	す	0													
	ま	す	,	N	W	点	は	L	P	L	h	P	1	ラ	ス	١	P	۲	デ
オ	を	か	h	た	h	に	見	る	1.)	٤	26	で	ŧ	て		ľ	炒	ぎ	ı
5	が	分	か	ŋ	P	す	W	IJ	٤	で	す	0	文	L	ょ	5	だ	け	70
は	난	2	め	W	が	む	ず	か	L	W	IJ	٤	B		が	ぞ	5	を	見
ħ	ば	楽	に	分	か	ŋ	ま	す		そ	ħ	か	6	,	J	-	J	ル	k
牛	2	×	ン	1-	な	Ł	を	使	5	٤	Œ	か	0	人	٤	シ	工	ア	70
き	3	D	で	,	y	N	-	ブ	ワ	-	7	水	l	P	す	11	で	す	0
	で	ф	6	Ь	だ	W	点	ь	あ	ŋ	ま	す	0	私	0	学	校	で	tt
1	ン	g		ネ	ッ	-	が	使	え	な	L.	時	が	あ	b	ま	す	۰	٤
2	ぜ	h	٤	Ø	ъ	h	だ	V	が	あ	る	٤		t	炒	ぎ	ı	ð	が
ス	١	ッ	プ	l	て	l	ま	V.	ま	す	0	ま	た	自	分	0	=	ン	۲
ュ	Name of Street	g	-	水	٤	わ	ħ	る	٤	,	な	お	す	n	に	時	間	が	カ
か	ŋ	ま	す	0	そ	ħ	E		ľ	炒	ぎ	J	Ď	に	か	h	け	Į,	な
l,	بع	う	755	を	見	た	ŋ		ゲ	_	L	を	L	た	b	L	て	W	3

生	٤	ę	W	ま	す	o	=	ン	F,	2.	-	9		で	色	t/	な	ľ	ı
ō	Œ	ð	办公	見	6	ħ	る	Ø	で	ľ	炒	ぎ	ż	ð	に	l	ゆ	ó	中
Ç	ŧ	な	<	な	る	か	В	L	礼	ま	난	Ь	۰						
	ま	٤	め	る	٤	,	自	分	で	W	W	点	٤	b	る	W	点	を	25
え	な	が	6	勉	強	す	る	た	め	Ø	方	Œ	5	n	-	2	٤	ι	7
7	ン	٤	2		9	-	を	使	5	٤	V	W	٤	思	W	ま	す	0	
			2																
															2 2				

34 à à N à N à 5 ŋ で す 気 7 す か 4 ð U. L ね 元 0 ょ 10 ょ 来 月 才 ス 1 ラ IJ 7 に 来 ま す ね ! C 11 U は で ð ま L た か 手 紙 7 ŋ 5 学 W 前 0 顷 ゆ 0 プ 中 12 あ る 牛 2 12 W T ち Ł L N ば V 2 J. t 0 が ち W ま L た 今 気 持 站 か b ŋ ま L た か T す だ 牛 プ は は C 80 て 70 ょ ね か 6 行 4 Ł 思 ょ す ð た < な V 0 T 11 る 0 は < 分 か ŋ ま で b 0 丰 4 2 プ 12 行 0 た 6 楽 L 11 7 ウ 1 K 7 0 7 7 テ E テ を た < t N す る 7 1 1 -す Ł ば サ が 6 ð ま ょ 1= 文 フ を L 1: 1 0 , ラ 3 た す ŋ 7 2 1 11 を ŋ L ま 3 \square 9 だ à à h は ス ボ 9 75 ٤ < V か 6 낸 た 0 楽 Ł 思 ま す 11 L to が で è る Ł V ょ 1 ス 0 755 2 教 え < 1 ラ 1 4 0 て to L W せ K n ま ナ ٤ 安 す か 6 て d L h ò 楽 n 何 11 b 丰 番 L V 0 T t 5 時 間 4 E は 友 達 2 自 ゆ な 12 話 を た 1) A を た n ナ る ٤ が 6 き る E で す 3 ż 私 Ł ľ H で す 5 h ば ä h は 同 N か L

0

0

0

い る こ と が で き る し 、 新 し い 友 達 が 作 れ る て も い い チャンス で す よ! み さ さ ん ど う で す か 。 こ の キャンプ に 行 た ら オースト ラ リ ア で 一番 思 い 出 に の こ る い け い に な る と 思 い ま す 。 だ か ら ぜ ひ 、 行 こ と を 考 え て み て く だ さ い 。 何 か し つ も ん あ っ た ら ま た 手 紙 を く だ さ い 。 じ や あ ま た 8 月 2 5 日	1
み さ さ ん ど う で す か 。 こ の キャン ブ に 行 た ら オ ー ス ト ラ リ ア で ー 番 思 い 出 に の こ る い け い に な る と 思 い ま す 。 だ か ら ぜ ひ 、 行 こ と を 考 え て み て く だ さ い 。 何 か し つ も ん あ っ た ら ま た 手 紙 を く だ さ い 。 じ ゃ あ ま た	1
た ら オ ー ス ト ラ リ ア で 一番 思 い 出 に の こ るい け い に な る と 思 い ま す 。 だ か ら ぜ ひ 、 行こと を 考 え て み て く だ さ い 。 何 か し つ も んあ っ た ら ま た 手 紙 を く だ さ い 。 じ ゃ あ ま た	
いけいになると思います。だからぜひ、行ことを考えてみてください。何かしつもんあったらまた手紙をください。じゃあまた	
ことを考えてみてください。何かしつもんあったらまた手紙をください。じゃあまた	t
あったらまた手紙をください。じゃあまた	. <
	7.
8 月 2 5 日 ミアより	. 2
	T
	÷
	÷
	+
	_
	I
	T
	T
	÷

月 日 水 曜 日 b ŋ 6 3 明 本 語 け h 755 あ 3 日 本 語 は 7 日 日 0 L 0 . た 年 生 0 時 は C 85 て U. 6 が な を 꽙 た < à 0 3 た カ 4 カ ナ す お Œ 元 n W L は W 政 0 of" た け 漢 字 が to ず か L か 수 6 t む 0 12 漢 字 が な 読 か L W て W る あ 3 色 h 4 0 75 そ 礼 は G. P. Γ 12 方 が あ る に J J J な < 使 5 だ ľ £ L を īE. L 0 は 大 W 73 to 0 好 き 13 7 x を 見 T Ł ば を お ぼ 元 た IJ . a ラ 2 ス 700 3 た H 本 0 色 な 場 所 を 7 = L 12 9 そ 12 思 6 見 行 ð た Ł た た Ł え メ て VI 0 ば 1 = 3 4 ル D -6 見 た あ か ð. Щ 行 0 て 4 た 11 そ n か 6 ポ を 聞 < 好 8 か 6 J 0 to 9 • 学 習 g. 5 5 校 で た B ば 文 Œ 水 好 ð な た 12 0 3 ょ 分 か る n E 去 年 か 6 入 V 0 0 꽘 週 K [7] 先 生 Ł 会 話 n を L る か 0 h 11 6 自 分 0 ð 来 P 15 1 K 日 本 語 J. n 1 0 11 T 3 t 5 学 事 話 せ る 12 な た 大 0 か Ħ P 仕 12 0 0 K VI T 0 た N 語 を ク 1 ズ V 1 0 力 を 使 0 9

2	て	勉	強	l	た	0	日	本	豁	水	上	手	に	な	る	の	は	時	間
が	か	か	る	け	٤	·	新	L	V	言	ば	を	使	2	て	=	""	,2	=
ケ	-	シ	9	ν	を	す	る	Ø	は	楽	L	V)	٤	思	ð	0	明	日	0)
L	け	А	b	が	<i>\(\lambda \)</i>	ば	3	5	0										

			テ	ッ	k	٤	フ	ッ	١	ボ	_	n							
											y	=	x	ル		モ	IJ	y	2
	今	日	は	学	校	で	L	け	h	ь	あ	2	た	L	,	そ	Ø	後	7
ッ	١	ボ	-	ル	Ø	1	V	-	=	ν	ŋ	f	あ	0	た	か	Ġ		٤
て	f	2	カュ	ħ	た	0	だ	か	6	1	0	時	に	~	ッ	k	に	行	2
た	Ø	E	,	ね	る	2	٤	が	で	ŧ	な	V,	0	本	を	読	み	始	85
よ	3	٤	思	0	τ	l,	た	5	,	٤	2	반	h	Г	y	=	-	何	を
L	て	V	る	の	J	٤	ij	え	25	閉	٤	え	た	0	お	母	ð	h	0)
IJ	え	ľ	4	な	Į,	a	Γ	だ	ħ	?	1	٤	開	<	٤		本	だ	な
n	上	E	あ	る	フ	ッ	1	ボ	-	ル	0)	7	ス	2	9	1	n	人	形
0	テ	2	K	25	Γ	Œ	<	だ	ţ	!	ね	え	y	=	т	ル	2	ħ	カ
6	フ	ッ	ŀ	ボ	-	ル	Ø	l	あ	W	を	見	ĸ	行	Ξ	ð)	J	Ł
言	2	た	0	Œ	<	は	あ	b	τ	て	バ	ジ	+	7	か	6	5	<	E
着	が	え	τ	,	6	ち	3	h	ス	カ	-	フ	٤	け	v	٤	Ø	ぼ	ò
L	f	か	5	0	τ	テ	ッ	k	٤	V	0	L	ı	E	家	を	出	た	0
ま	す	テ	9	k	は	×	M	CG	Ø	D.	ッ	カ	-	N	_	٨	E	2	ħ
て	行	0	て	<	ħ	た	0	Œ	<	0	好	ŧ	な	せ	h	L	炒	が	た
<	ż	h	Į,	た	0	テ	ッ	K	255	Œ	<	を	せ	h	L	ゆ	٤	2	
チ	K	L	Ŀ	Ď	か	W	L	て	<	ħ	た		サ	1	v	ь	ь	6	0
て	L	4	l	h	ъ	V.	2	L	ı	K	٤	2	た	0	テ	ッ	k	٤	^

1	9	9	チ	!															
	そ	L	て	,	W	ょ	W	ょ	L	あ	١١	だ	0	テ	9	k	は	٢	~
ン	チ	E	す	b	2	τ	P	n	W	t	!	J	٤	言	0	τ	,	Œ	<
は		t	h	l	炒	た	ち	٤	W	2	l	ŗ	に	~	ン	チ	ĸ	す	1
0	て	L	あ	n	を	見	た	0	テ	ッ	K	水	111	-	ŀ	バ	1	٤	Ŧ
ッ	プ	ス	を	買	2	τ	ŧ	τ	<	ħ	τ		始	ま	ŋ	Ø	サ	1	L
ン	が	な	2	た	0	١	F,	F,	2	۲	F,	9	F,	F,	9	J	主	y	0
外	は	明	る	<i>۱</i> ،	0	テ	ッ	k	は	本	だ	な	0	上	に	す	b	0	7
١,	る	0																	
	明	日	は	,	テ	ッ	k	٤	U	do.	な	<	て	お	父	ż	h	٤	
M	CG	E	行	<	0	12	ッ	カ	-	ル	-	Д	K	は	入	ħ	な	11	た
3	ò	な	0 0	0 0															
						_													